

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

平成24年 6 月 20 日

大 分 県 知 事 殿

提出者
住 所
氏 名

大分市舞鶴町1丁目4番35号(大分三井ビル)
梅林建設株式会社
代表取締役社長 梅村秀伍

（法人にあっては名称及び代表者の氏名）

電話番号 097-534-4151（内線）300

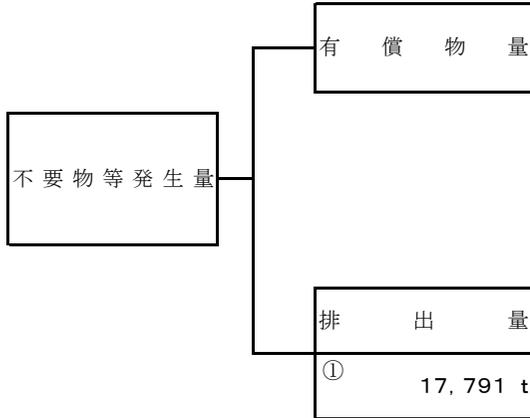
（担当部署）品質環境管理部

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、平成23年度の産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

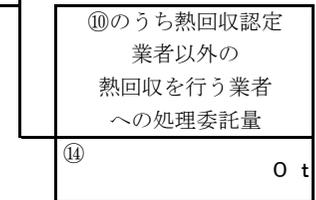
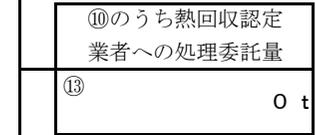
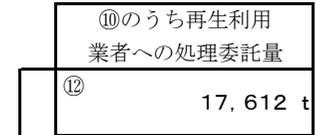
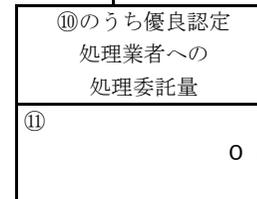
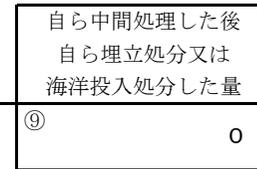
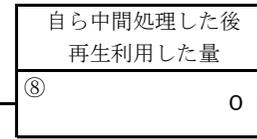
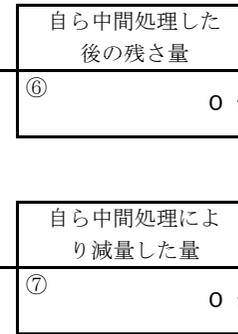
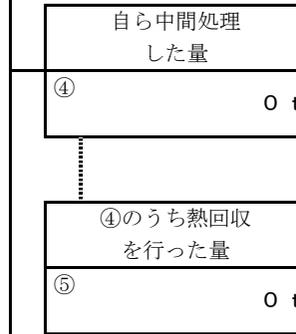
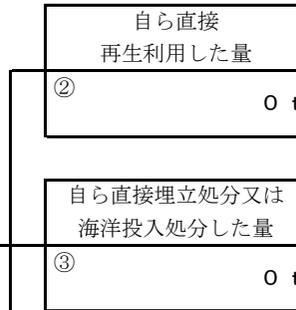
事業場の名称	梅林建設株式会社		
事業場の所在地	大分市舞鶴町1-4-35（大分三井ビル） tel 534-4151		
事業の種類	(大分類D) 建設業 日本標準産業分類番号 総合工事業/一般土木建築工事業 0611		
産業廃棄物処理計画における計画期間	平成23年4月1日～平成24年3月31日		
産業廃棄物処理計画における目標値			
項目	目標値	項目	目標値
排出量	— t	全処理委託量	— t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	— t	優良認定処理業者への処理委託量	— t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	再生利用業者への処理委託量	— t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	認定熱回収業者への処理委託量	— t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	— t
※事務処理欄			

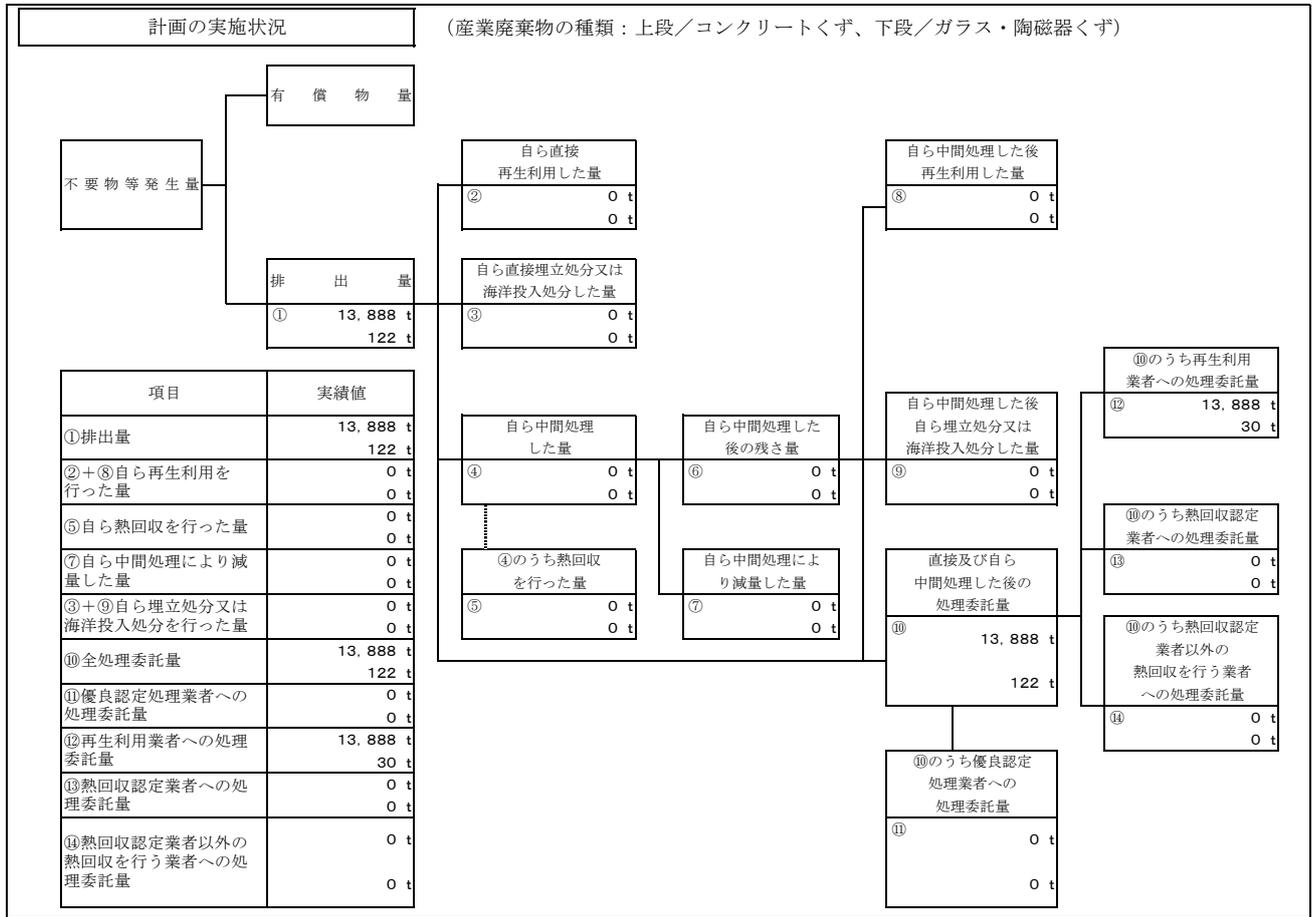
計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： _____)

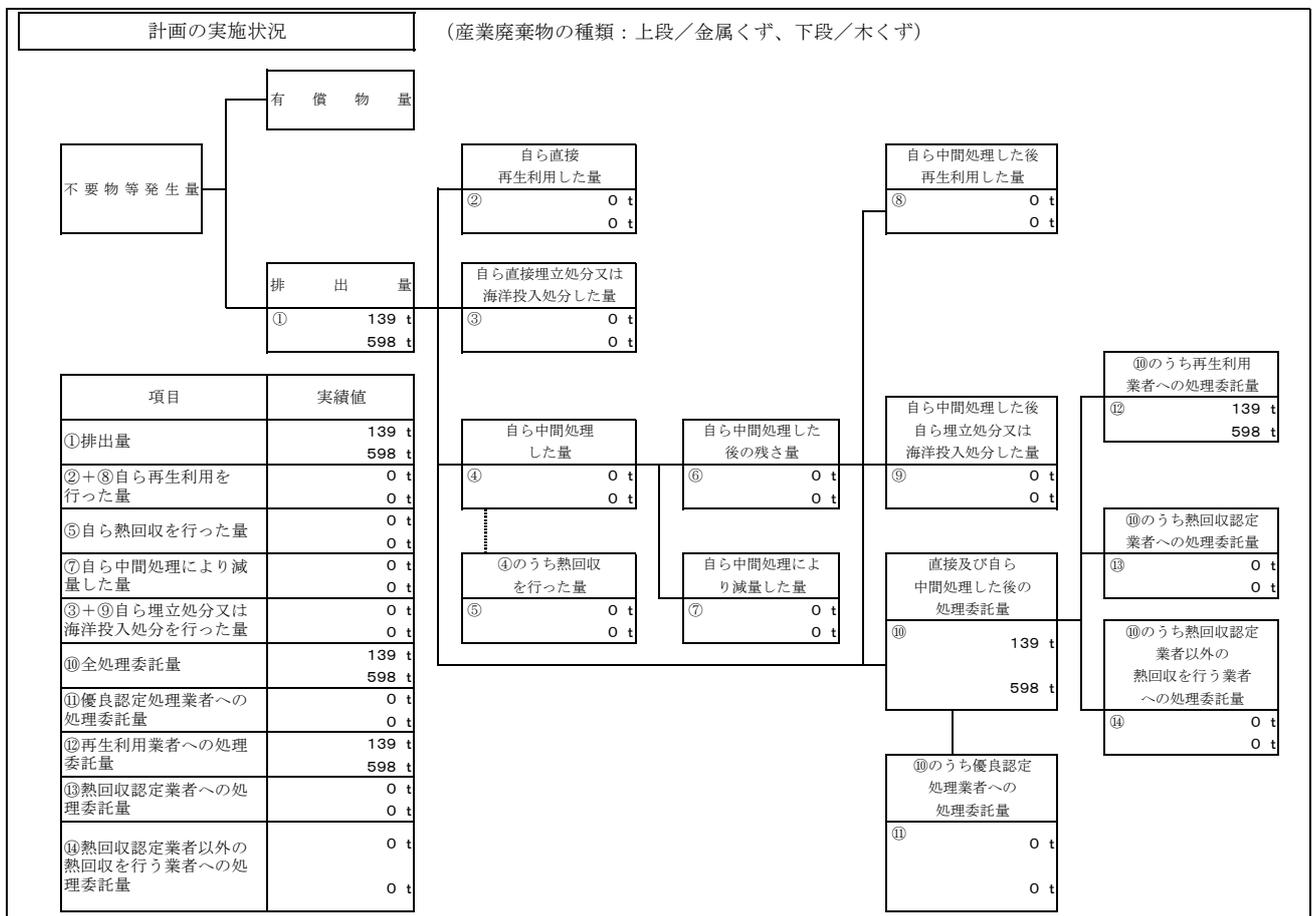


項目	実績値
①排出量	17,791 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	17,791 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	17,612 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

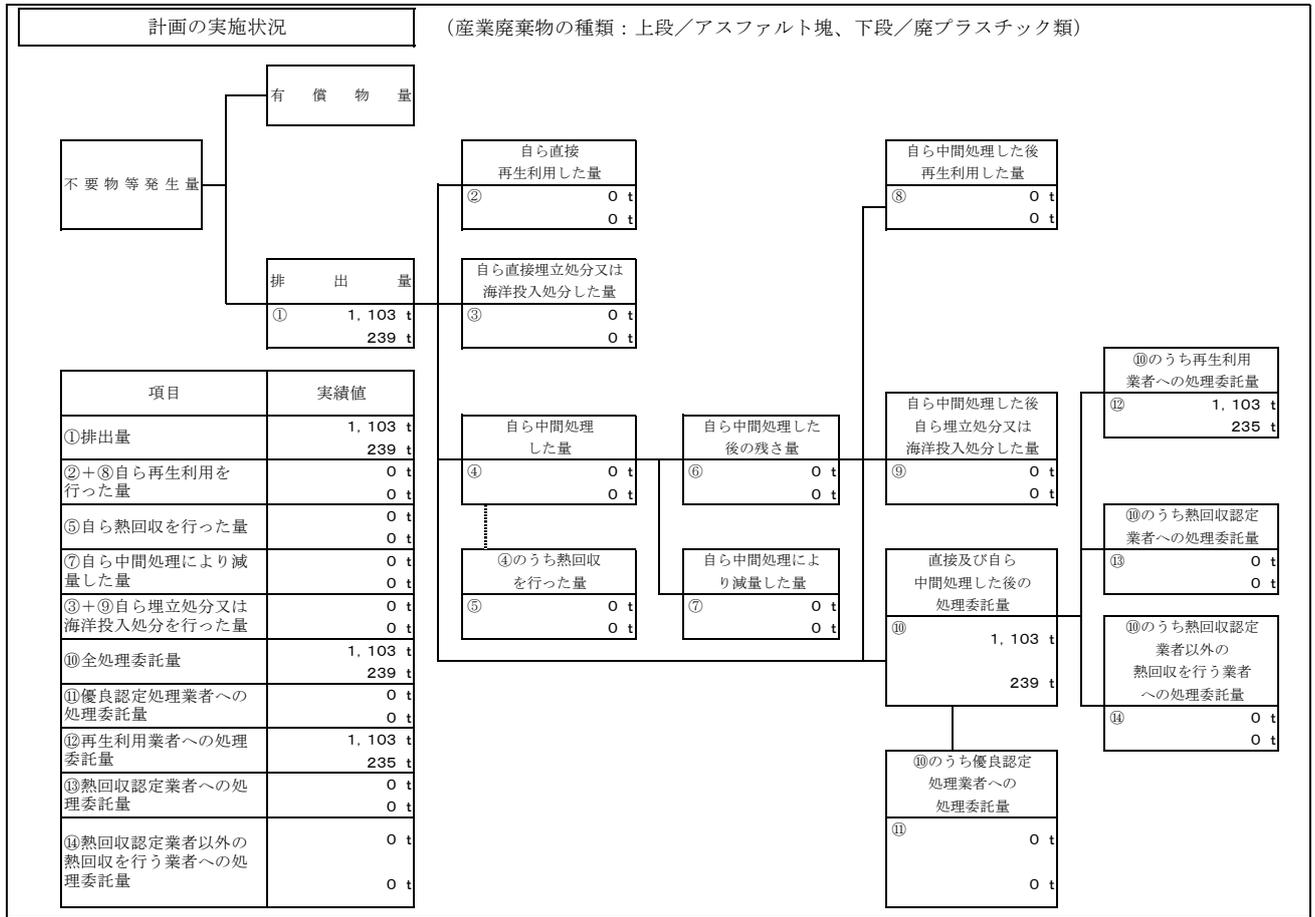




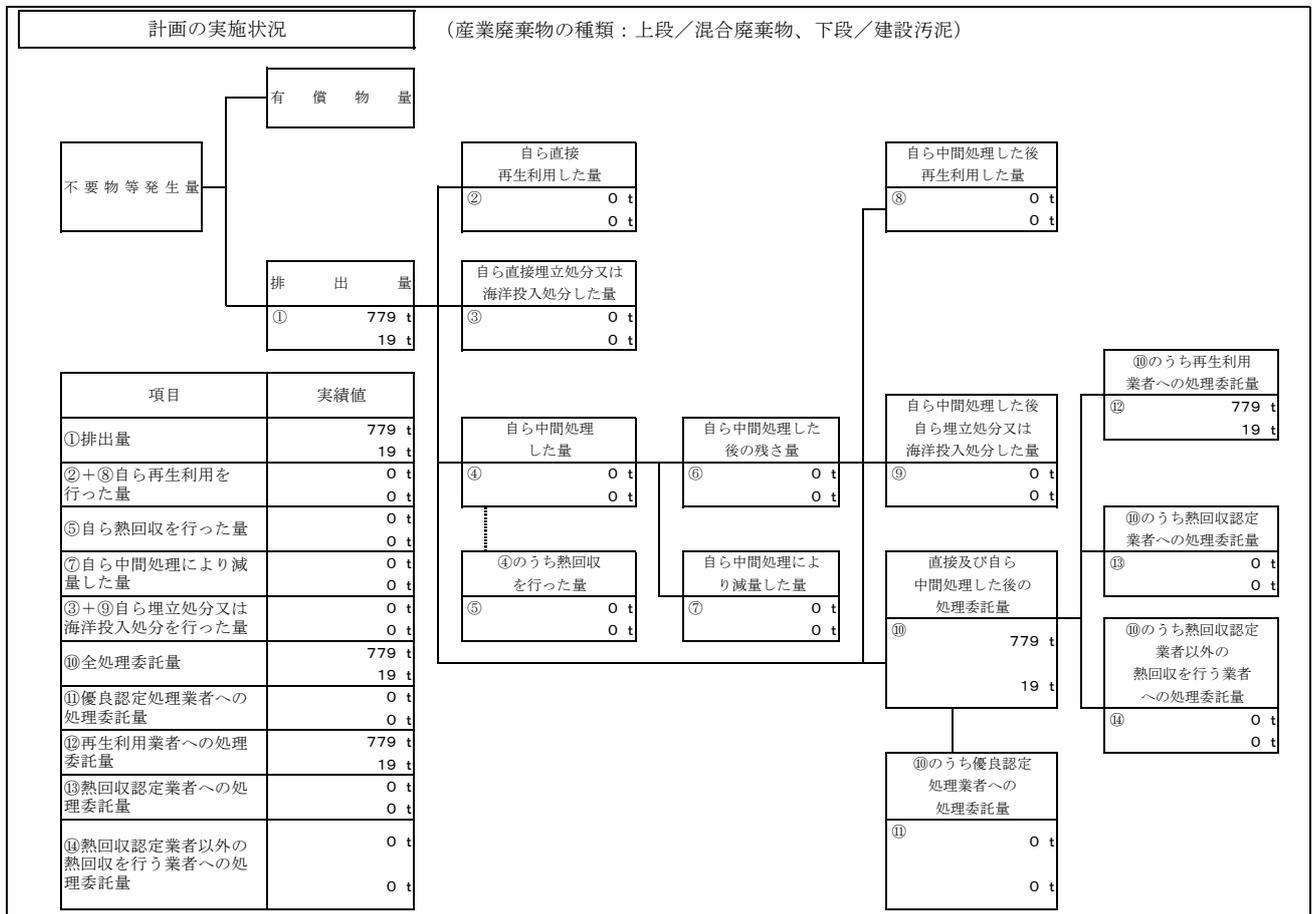
(第2面)



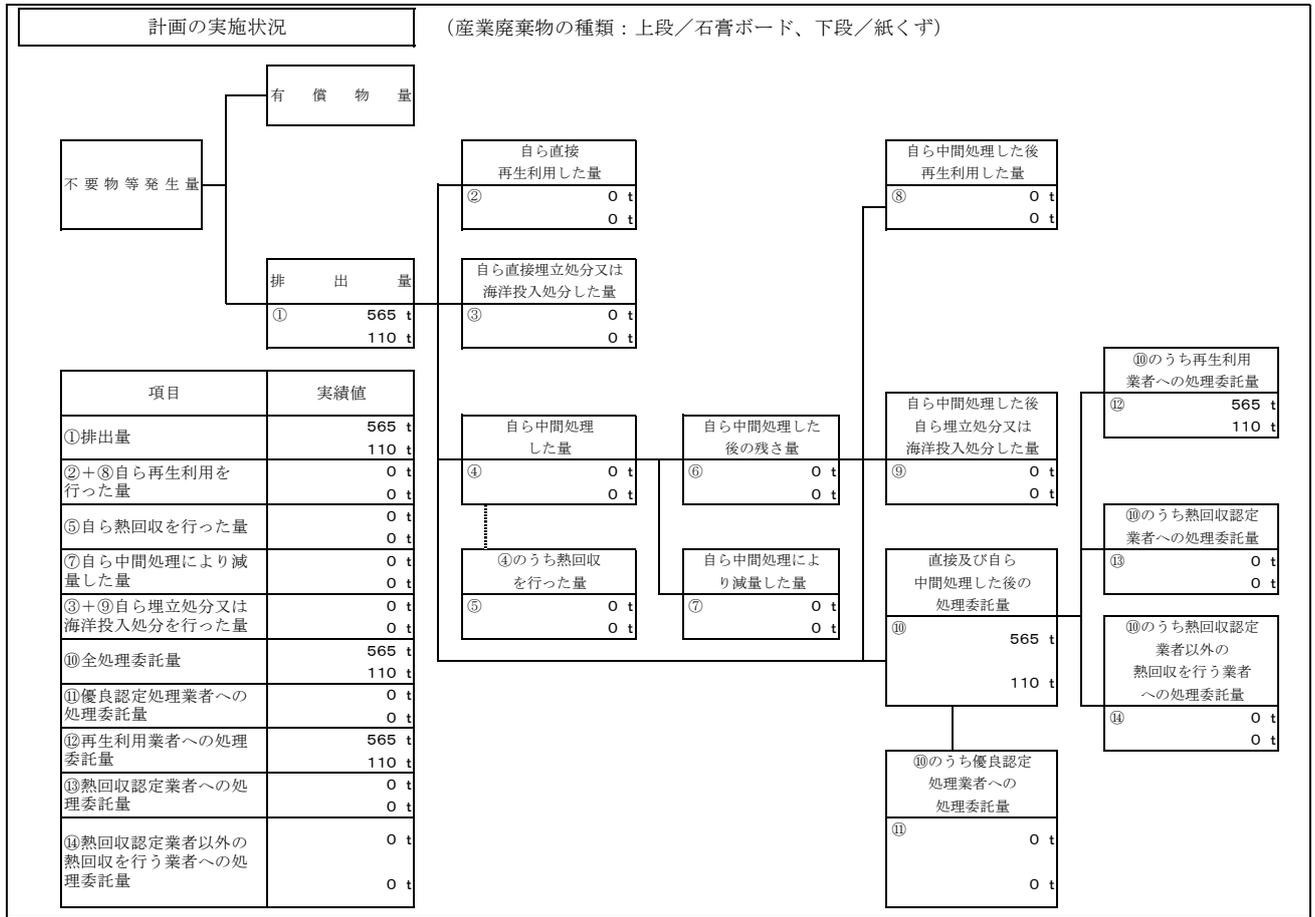
(第2面)



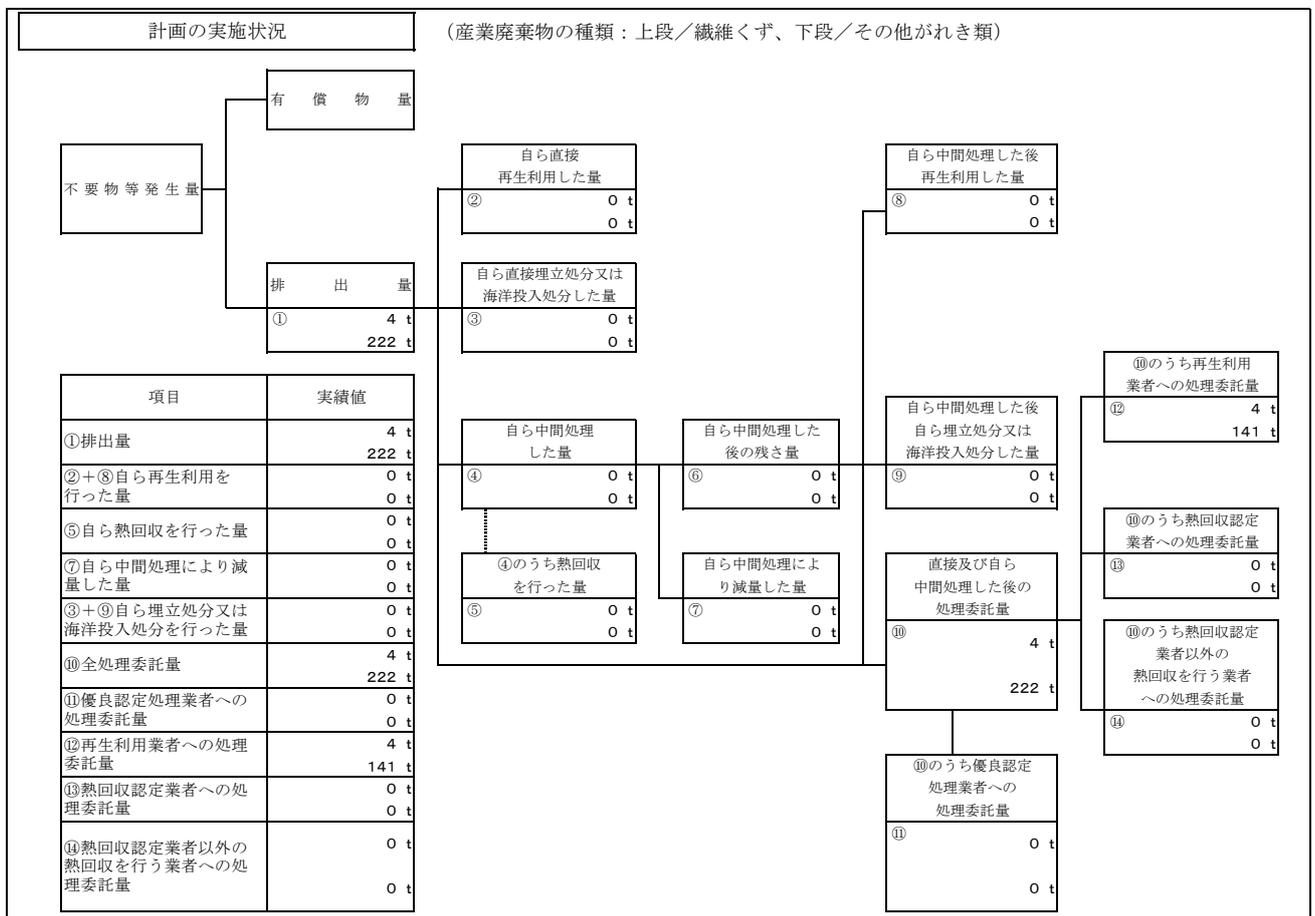
(第2面)



(第2面)



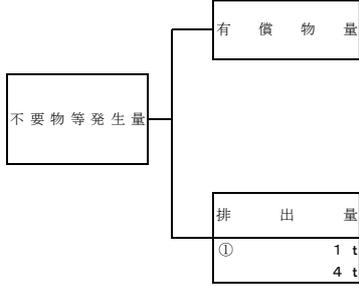
(第2面)



(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：上段／廃油、下段／石綿含有廃棄物)



項目	実績値
①排出量	1 t 4 t
②+⑧自ら再生利用を行った量	0 t
⑤自ら熱回収を行った量	0 t
⑦自ら中間処理により減量した量	0 t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	0 t
⑩全処理委託量	1 t 4 t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	0 t
⑫再生利用業者への処理委託量	1 t
⑬熱回収認定業者への処理委託量	0 t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t

自ら直接再生利用した量	②	0 t
		0 t

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	③	0 t
		0 t

自ら中間処理した量	④	0 t
		0 t

④のうち熱回収を行った量	⑤	0 t
		0 t

自ら中間処理した後の残さ量	⑥	0 t
		0 t

自ら中間処理により減量した量	⑦	0 t
		0 t

自ら中間処理した後再生利用した量	⑧	0 t
		0 t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	⑨	0 t
		0 t

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量	⑩	1 t 4 t
---------------------	---	------------

⑩のうち優良認定処理業者への処理委託量	⑪	0 t
		0 t

⑩のうち再生利用業者への処理委託量	⑫	1 t
		0 t

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量	⑬	0 t
		0 t

⑩のうち熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	⑭	0 t
		0 t

備考

- 1 翌年度の6月30日までに提出すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑭の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の1第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

表 1

平成 2 3 年度排出実績(大分市を除く大分県内について)

単位：t/年

廃棄物の種類	実績 [H22 前 年 度 排 出 量]	実績 [H 2 3 年度] (上段の数値は 2 3 年度の計画値)							
		本年 排 出 量	中 間 処 理 量	中 間 処 理 量			直 接		総 減 量
				中 間 処 理 後			再 生 利 用 量	最 終 処 分 量	
				再 生 利 用 量	最 終 処 分 量	減 量			
コンクリートくず	5,892	13,888	13,888	13,888	0	13,888	0	0	13,888
ガラス・陶磁器くず	61	122	30	30	0	30	0	70 92	0 30
金属くず	215	139	139	139	0	139	0	0	139
木くず (チップ化) (縮減化)	540	— 598	— 598	チップ 縮減 — 598 縮減 0	— 0 10%灰 0	— 598 0	— 0 0	— 0 0	— 598
アスファルト塊	822	1,103	1,103	1,103	0	1,103	0	0	1,103
廃プラスチック類	208	239	235	141 ←60%再生	94	141	0	4	141
混合廃棄物	303	779	779	0	779	0	0	0	0
建設汚泥	2,108	19	19	0	19	0	0	0	0
石膏ボード	478	565	565	0	565	0	0	0	0
紙くず (チップ化) (縮減化)	119	— 110	— 110	チップ 縮減 — 110 縮減 0	— 0 10%灰 0	— 110 0	— 0 0	— 0 0	— 110
繊維くず	1	4	4	0	4	0	0	0	0
その他がれき類	307	222	141	0	141	0	0	81	0
廃油	1	1	1	1	0	1	0	0	1
石綿含有廃棄物	7	4	0	0	0	0	0	4	0
その他	1	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	11,062 前年比	17,791 60.8%増	17,612	16,010	1,602	16,010	0	181 (縮減率)	16,010 (90.0%)

表 2 平成 24 年度排出目標(大分市を除く大分県内について)

単位：t/年

廃棄物の種類	実績 [H23 概] 基準 排出量	計画 [H24 年度目標値]							
		発生 排出 量	処 理 量	中間処理量			直 接		総 減 量
				中間処理後			再 生 利 用 量	最 終 処 分 量	
				再 生 利 用 量	最 終 処 分 量	減 量			
コンクリートくず	13,888	13,000	13,000	13,000	0	13,000	0	0	13,000
ガラス・陶磁器くず	122	110	0	0	0	0	0	110	0
金属くず	139	120	120	120	0	120	0	0	120
木くず(チップ化) (縮減化)	598	500	500	チップ 400 縮減 90	0 10%灰 10	400 90	0 0	0 0	490
アスファルト塊	1,103	1,000	1,000	1,000	0	1,000	0	0	1,000
廃プラスチック類	239	200	200	120	80	120	0	0	120
混合廃棄物	779	700	700	0	700	0	0	0	0
建設汚泥	19	10	10	0	10	0	0	0	0
石膏ボード	565	500	500	0	500	0	0	0	0
紙くず(チップ化) (縮減化)	110	100	100	チップ 70 縮減 27	0 10%灰 3	70 27	0 0	0 0	97
繊維くず	4	2	0	0	0	0	0	2	0
その他がれき類	222	150	0	0	0	0	0	150	0
廃油	1	1	1	1	0	1	0	0	1
石綿含有廃棄物	4	2	0	0	0	0	0	2	0
その他	0	1	0	0	0	0	0	1	0
合 計	17,791	16,396	16,131	14,711	1,303	14,828	0	265	14,828